外国語科（英語コミュニケーションⅡ）学習指導案

日　時　令和８年１月　14　日（水）
　　第５校時　13：25～14：15
学校名
対　象　第３学年　　組　　名
会　場
授業者

１　単元名

Lesson 5　Goal Setting　*COMET ENGLISH COMMUNICATION Ⅱ*（数研出版）

２　単元の目標

効果的な目標設定の仕方に関する英文の概要や要点を捉えるために、必要な情報を読み取ることができる。

３　単元の評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　必要な情報を読み取るために必要となる、不定詞の用法を理解している。 ②　効果的な目標設定の仕方について書かれた情報を読み取り、概要と要点を捉える技能を身に付けている。	①　効果的な目標設定の仕方に関する英文の概要と要点を捉えている。	①　効果的な目標設定の仕方に関する英文の概要と要点を捉えようとしている。

４　指導観

⑴　単元観

本単元は、高等学校学習指導要領（平成 30 年３月告示）第２章　第８節　外国語　第２款　各科目　第２　英語コミュニケーションⅡ　１　目標　⑵　読むこと

> イ　社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

また、同　第２款　各科目　第１　英語コミュニケーションⅠ　２　内容〔知識及び技能〕⑴ 英語の特徴やきまりに関する事項

> エ　文構造及び文法事項
> 　(ｲ)　文法事項
> 　　a　不定詞の用法

加えて、同２　内容〔思考力、判断力、表現力等〕　⑵　情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

> ア　日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめたりすること。

そして、同　第２款　各科目　第１　英語コミュニケーションⅡ　２　内容　⑶ 言語活動及び言語の働きに関する事項

> ①　言語活動に関する事項
> 　ウ　読むこと

(イ)　社会的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、論証文や報告文などから必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。

を受けて、単元の指導目標としては、必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動までを行う。

⑵　生徒観

本校では、英語コミュニケーションⅠを第１学年と第２学年で、同Ⅱを第３学年で履修できるようにし、それぞれの授業とも習熟度別２展開で義務教育範囲の「学び直し」を含めた指導を行っている。

本クラスは、習熟度別のＢクラスである。英語の学習に対して苦手意識をもつ生徒が多い一方で、海外の文化や、英語を使ってコミュニケーションを取ることに興味関心が高い生徒も多数いる。「読むこと」に関しては、まとまった英文を読むことに多くの補助を必要とするが、生徒たちはなんとか理解したいと前向きな姿勢で授業に臨んでいる。読むことに焦点を当てた授業の中で、英文の主語と述語部分の確認を促し本文の概要と要点を把握できるようにすることで、自分の力で英文を読むことができたという経験を積み上げ、英文を読む楽しさを味わえるようにする。

⑶　教材観

本単元では、効果的な目標設定の仕方について学ぶ。目標設定の理論には様々なものがあるが、本単元では、大谷翔平選手の例などを示しながら、「すべきこと・必要なことをチャートに書き出す」「『何』『いつ』を明確にする」「将来の目標からさかのぼって計画を立てる」という、わかりやすく実践しやすい三つの方法が紹介されている。卒業後の進路が決まり、社会に巣立っていく生徒たちには、これから目標を定める機会が多くあると予想される。また、漠然と目標を立てても結局実現できなかった経験をもつ生徒もいる。本単元の学習を経て、効果的な目標設定の仕方について学び、それを日常生活にも取り入れられるようにする。また、目標を定めてその達成に向けて努力することの大切さについても考えられるようにする。

本単元の各パラグラフの概要や要点の解釈例は以下のとおりである。なお、概要は日本語で示しても良いこととする。

Section	Paragraph	概要	要点を示す一文
1	第１	Introduction of Goal Setting 良い目標設定の導入	If you know a good way to set your goal, you can achieve it more easily.
	第２	One Example of Good Goal Setting 大谷選手に見る、目標の立て方の一例	Then he thought of what to do and wrote everything down on a chart.
2	第３	A Necessary Point When You Set a Goal 目標を設定するときに必要なこと	When you set a goal, you should think clearly about “what” and “when.”
3	第４	Another Important Point for Goal Setting 目標設定において、もう一つ重要なこと	In this way, set your final goal first, then take small steps backward.

５　年間指導計画における位置付け

	単元名	時数	焦点領域
第１学期	Lesson 1　Places Worth Visiting	9 時間	書くこと
	Lesson 2　Iwago Mitsuaki	12 時間	話すこと［発表］
第２学期	Lesson 3　The Haka	6 時間	聞くこと
	Lesson 4　Digital Detox	9 時間	話すこと［やりとり］

	Optional Reading　The Story of Malala Yousafzai	8時間	読むこと
第3学期	Lesson 5　Goal Setting	6時間	読むこと
通年	パフォーマンステスト		
	ペーパーテスト		

6　単元の指導計画と評価計画（全６時間）

時	目標	○学習内容　・学習活動	評価規準 （評価方法）
第1時（本時）	単元のトピックを把握し、各段落の概要を考える。	○　単元全体の導入 ・　2026年の目標を考える。 ・　2025年の目標を振り返る。 ・　オーラルイントロダクションを通して、単元全体の内容を大まかに把握する。 ○　本文の通読 ・　英文の述語部分を確認しながら、本文全体を通読する。 ○　各段落の概要把握 ・　各段落の概要を考える。 ・　個人で考えた概要をペアで確認する。 ・　ペアで考えた概要をクラスで確認する。	ウ－① （観察） ア－② （観察、ワークシート）
第2時	Paragraph 1、2を読み、各段落の要点を捉える。	○　新出語句の導入 ○　Paragraph 1の要点把握 ・　主語や述語部分を記号化しながら英文を読む。 ・　要点だと思う1文を選ぶ。 ・　選んだものをペアで確認する。 ・　選んだものをクラスで確認する。 ・　第1時に考えた概要を見直し、概要と要点の辻褄が合っているか考える。 ○　Paragraph 1の音読練習 ・　大切な語句の強調や、区切り方を工夫して読むことで、内容が伝わりやすい音読になることを学ぶ。 ・　内容が聞き手に伝わるように、Paragraph 1を音読する。 ○　Paragraph 2の要点把握 ・　主語や述語部分を記号化しながら英文を読む。 ・　要点だと思う1文を選ぶ。 ・　選んだものをペアで確認する。 ・　選んだものをクラスで確認する。	ア－② （ワークシート、観察）

		・　第１時に考えた概要を見直し、概要と要点の辻褄が合っているか考える。 ○　Paragraph 2 の音読練習 ・　内容が聞き手に伝わるように、Paragraph 2 を音読する。	
第３時	Paragraph 3 を読み、各段落の要点を捉える。	○　新出語句の導入 ○　Paragraph 3 の要点把握 ・　段落ごとに、主語や述語部分を記号化しながら英文を読む。 ・　各段落で要点だと思う１文を選ぶ。 ・　選んだものをペアで確認する。 ・　選んだものをクラスで確認する。 ・　第１時に考えた概要を見直し、概要と要点の辻褄が合っているか考える。 ○　Paragraph 3 の音読練習 ・　内容が聞き手に伝わるように、Paragraph 3 を音読する。	ア－② （ワークシート、観察）
第４時	Paragraph 4 を読み、各段落の要点を捉える。	○　新出語句の導入 ○　Paragraph 4 の要点把握 ・　段落ごとに、主語や述語部分を記号化しながら英文を読む。 ・　各段落で要点だと思う１文を選ぶ。 ・　選んだものをペアで確認する。 ・　選んだものをクラスで確認する。 ・　第１時に考えた概要を見直し、概要と要点の辻褄が合っているか考える。 ○　Paragraph 4 の音読練習 ・　内容が聞き手に伝わるように、Paragraph 4 を音読する。	ア－② （ワークシート、観察）
第５時	本文に関連した文法事項を理解する。	○　不定詞を用いた文について理解する。 ・　本文中に登場する、不定詞を用いた文の意味を理解する。 ・　不定詞の使い方を理解する。 ・　不定詞を使った英文を作る。	ア－① （ペーパーテスト）
第６時	内容が聞き手に伝わるように、Lesson 全体を音読する。	○　概要と要点のまとめ ・　今までの学習を振り返り、各段落の概要と要点を見直す。 ○　Lesson 全体の音読練習 ・　内容が聞き手に伝わるように、Lesson 全体を音読する。	イ－① （観察） ウ－① （観察）

		○　単元に対しての考えを深める。 ・　Lesson で示されている、良い目標設定の仕方を踏まえ、第１時で考えた 2026 年の目標を明確化する。	

7　指導に当たって

ア　自分の力で英文を読み進めたり概要や要点を考えたりすることで、「主体的な学び」につなげる。
イ　生徒同士の協働や、他者の考えに触れる機会を設けることで、各自の考えを広げ、「対話的な学び」につなげる。
ウ　相手に伝わる音読を意識付けることで、生徒自身の英文の解釈を深め、「深い学び」につなげる。

8　本時（全６時間中の第１時）

⑴　本時の目標
単元のトピックを把握し、各段落の概要を考える。

⑵　本時の展開

時間	○学習内容　・学習活動	指導上の留意点　配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 20 分	○　挨拶 ○　単元全体の導入 ・　2026 年の目標を考える。 ・　2025 年の目標を振り返る。 ○　本時の目標 ・　本時の目標を確認する。 ・　授業の流れを確認する。 ・　オーラルイントロダクションを聞き、単元全体の内容を大まかに把握する。	・　自由な発言を促す。 ・　達成できたかどうかも含めて振り返るよう指示する。 ・　目標を達成するためには、目標設定の仕方が大切だということに注目できるよう促す。 ・　事前に板書を行い、生徒が見通しをもって活動に臨めるようにする。 ・　スライドを用いて、テンポよく行う。 ・　イラストを多く活用しながらオーラルイントロダクションを行うことで、生徒の理解を助ける。 ・　重要な内容語はイラストだけでなく文字でも表示し、生徒の読みを支援することにつなげる。 ・　未知語の説明は最低限にとどめ、オーラルイントロダクションの流れを止めないよう留意する。	ウ－① 効果的な目標設定の仕方に関する英文の概要と要点を捉えようとしている。 （観察）
展開 28 分	○　本文の通読 ・　英文の述語部分を確認しながら、本文全体を通読する。	・　教科書は開かないこととする。 ・　各英文の述語部分に○を、キーワードである内容語に下線を引き、英	ア－② 効果的な目標設定の仕方について書かれた情報を読み取り、概要と要点を捉える

		文を読み進めるよう伝える。 ・　述語部分という言葉を用いず、「～する、～した」といった平易な言葉で説明する。 ・　机間指導を行うとともに、述語部分ヒントカードを用意しておき、英文を読み進めることに困難を抱えている生徒に支援を行う。	技能を身に付けている。 （観察、ワークシート）
	○　各段落の概要把握 ・　各段落の概要を考える。 ・　個人で考えた概要をペアで確認する。 ・　ペアで考えた概要をクラスで確認する。 ・　教科書を開き、各ページの「読み取りのポイント」を確認する。	・　教科書は開かせないままにする。 ・　概要という言葉を用いず、「それぞれの段落にタイトルをつけるなら」と平易な言葉で説明する。 ・　英単語１語や、日本語で考えてもよいことを伝える。 ・　タイマーを用いて、テンポよく確認を進められるようにする。 ・　何人かの生徒に発言するよう促し、出てきた意見を板書する。 ・　本時のような概要把握をすれば自分の力で英文を読むことができるのだと伝え、自信をもてるよう指導する。	
まとめ ２分	○　振り返り ・　本時の振り返りをする。 ○　次回予告 ○　挨拶		

⑶　板書計画

Let's get the outline of Lesson5!
□ Warm-up
□ Reading
□ Outline
□ Review

スライド

⑷　授業観察の視点

ア　生徒が自分の力で英文を読み進めたり概要を考えたりすることで、「主体的に学ぶ」授業展開になっていたか。

イ　生徒同士の協働や、他者の考えに触れる機会を設けることで、各自の考えを広げ、「対話的に学ぶ」授業展開になっていたか。